

受験番号	
------	--

平成20年度登録販売者試験問題

《 8月24日 午前の部 》

＜注意事項＞

- 指示があるまでは、中を開いて見てはいけません。
- 試験問題数は全部で60問です。
- 解答用紙の所定欄に受験番号・氏名を正確に記入してください。
- 解答はすべて解答用紙に記入してください。
- 試験時間は10時から正午までです。
試験開始後60分までと、終了10分前からは退室を認めません。退室する方は、手をあげて監督者の指示に従ってください。
- 試験問題用紙は、持ち帰ることができます。忘れて退出された場合は、正午から12時10分までに会場に取りに来てください。

宮 崎 県

この試験問題においての「薬事法」は、薬事法の一部を改正する法律（平成18年法律第69号）による改正後の薬事法とします。

問1

一般用医薬品の情報提供に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 医薬品は、効能効果、用法用量、副作用等の必要な情報が適切に伝達されることを通じて、購入者が適切に使用することにより、初めてその役割を十分に発揮するものである。
- イ 医薬品の販売時の取扱い、製品の成分分量、効能効果については、一旦市販された後は変更されることはない。
- ウ 医薬品は、期待される有益な効果のみをもたらすものとは限らず、好ましくない反応を生じる場合がある。
- エ 購入者が一般用医薬品を適切に選択し、適正に使用することができるよう、専門家はその販売に関与し、必要な情報を提供し、また、購入者等からの相談に対応する必要がある。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	誤	誤	誤
2	正	正	誤	誤
3	誤	正	正	誤
4	誤	正	誤	正
5	正	誤	正	正

問2

医薬品の副作用に関する以下の記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

WHO（世界保健機関）の定義によれば、医薬品の副作用とは、「疾病の予防、診断、治療のため、又は身体の機能を正常化するために、人に（ ア ）で発現する医薬品の有害かつ意図しない反応」とされている。

我が国では、「許可医薬品が適正な使用目的に従い適正に使用された場合においてもその許可医薬品により人に発現する（ イ ）反応」を医薬品の副作用と定義している。

- | | ア | イ |
|---|----------|-------|
| 1 | 通常用いられる量 | 有害な |
| 2 | 通常用いられる量 | 過敏 |
| 3 | 最大用いられる量 | 有害な |
| 4 | 最大用いられる量 | 意図しない |
| 5 | 最大用いられる量 | 過敏 |

問3

医薬品の使用によって引き起こされる、発疹・発赤の皮膚症状を下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 化膿のう
- 2 浮腫しゅ
- 3 白癬せん
- 4 チアノーゼ
- 5 薬疹しん

問4

薬の作用に関する以下の記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。なお、同じ記号の()内には同じ字句が入りません。

薬という物質、すなわち薬物が生体の生理機能に影響を与えることを(ア)作用という。通常、医薬品は複数の(ア)作用を併せ持つため、医薬品を使用した場合には、(イ)作用以外の反応が現れることがある。

(イ)作用以外の反応で好ましくないものを一般に(ウ)作用という。

	ア	イ	ウ
1	薬理	主	副
2	薬理	副	主
3	主	副	薬理
4	主	薬理	副
5	副	主	薬理

問5

セルフメディケーションに関する以下の記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

セルフメディケーションとは、WHO（世界保健機関）によれば「自分自身の健康に責任を持ち、軽度な身体の不調は自分で手当てする」こととされている。

(ア)の利用のほか、食事と栄養のバランス、睡眠・休養、運動、禁煙等の(イ)の改善を含めた健康維持・増進全般について「セルフメディケーション」という場合もある。

	ア	イ
1	一般用医薬品	生活習慣
2	一般用医薬品	生活環境
3	医療用医薬品	生活習慣
4	医療用医薬品	生活環境
5	栄養補助食品	生活環境

問6

アレルギーに関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア アレルギーには、体質的、遺伝的な要素もある。
- イ アレルギー症状の中には、流涙や目の痒み等の結膜炎症状を呈するものもある。
- ウ アレルギーは、医薬品の薬理作用とは関係なく起こり得るものである。
- エ 普段は医薬品にアレルギーを起こしたことがない人でも、病気等に対する抵抗力が低下している状態などの場合には、思わぬアレルギーを生じることがある。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	誤	正	誤
2	正	正	誤	誤
3	誤	正	正	誤
4	誤	誤	誤	正
5	正	正	正	正

問7

一般用医薬品に関する以下の記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

一般用医薬品は、軽度な疾病に伴う症状の改善等を図るためのものであり、一般の生活者が(ア)の判断で使用するものであることから、通常は、副作用の兆候が現れたときには基本的に使用を(イ)して、必要に応じて医師、薬剤師などに相談がなされるべきである。

	ア	イ
1	専門家	継続
2	専門家	中止
3	専門家	休止
4	自ら	継続
5	自ら	中止

問 8

以下のア～ウは、ある医薬品成分の使用上注意すべきことについての記述である。すべての記述に当てはまる成分を下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 少量でも眠気を催しやすく、重大な事故につながるおそれがある。
- イ 依存性がある成分でもあり、反復して摂取すると依存を生じるおそれがある。
- ウ 大量摂取による急性中毒は、我が国における代表的な薬物中毒の一つになっている。

- 1 アセトアミノフェン
- 2 ブロムワレリル尿素
- 3 サンソウニン
- 4 塩酸メチルエフェドリン
- 5 カフェイン

問 9

以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 一般用医薬品は、一つの医薬品の中に作用の異なる複数の成分を組み合わせ含んでいることが多いため、他の医薬品と併用した場合に、同様な作用を持つ成分が重複しても、作用が強く出過ぎることはない。
- イ かぜ薬と鎮静薬では、成分や作用が重複することが多いため、通常、併用は避ける。
- ウ ハーブを摂取すると、生薬成分が配合された医薬品の効き目や副作用を増強させることがある。
- エ 酒類をよく摂取する者では、肝臓の代謝機能が低くなっていることが多いため、アセトアミノフェンなどでは、十分な薬効が得られなくなることがある。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

問10

乳児、幼児、小児に関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 小児は、大人に比べて、中枢神経系に影響を与える医薬品で副作用を起こしやすい。
- イ 小児は、大人と比べて身体の大きさに対して腸が短く、服用した医薬品の吸収率が低い。
- ウ 7歳未満の幼児に使用される医薬品では、服用時に喉^{のど}につかえやすいので注意するよう添付文書に記載されている。
- エ 乳児は医薬品の影響を受けやすく、また状態が急変しやすいため、一般用医薬品を使用するよりも医師の診療を受けることが望ましい。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	誤	正	正
2	正	正	誤	正
3	正	誤	誤	正
4	誤	正	正	誤
5	誤	正	誤	正

問11

高齢者に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 医薬品の使用上の注意等において「高齢者」という場合には、おおよその目安として60歳以上を指す。
- 2 一般に高齢者は生理機能が衰えつつあり、若年時に比べて医薬品の副作用を生じるリスクは高くなる。
- 3 基礎体力や生理機能の衰えの度合いは個人差が大きく、年齢のみから医薬品の副作用を生じるリスクを判断することは難しい。
- 4 高齢者は、喉^{のど}の筋肉が衰えて、飲食物を飲み込む力が弱まっている場合がある。

問 1 2

妊婦に関する以下の記述のうち、誤っているものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 ビタミンA含有製剤のように、妊娠前後の一定期間に通常の用量を超えて摂取すると胎児に先天異常を起こす危険性が高まるとされているものがある。
- 2 便秘薬のように、配合成分やその用量によっては流産や早産を誘発するおそれがあるものがある。
- 3 胎盤には、胎児の血液と母体の血液とが混ざらない仕組みとして、血液脳関門がある。
- 4 一般用医薬品においても、妊婦の使用については「相談すること」としているものが多い。

問 1 3

以下の表は、A欄に「アレルギーの既往歴がある人」、B欄に「服用してはならない成分・薬効群」を記載したものである。A欄とB欄の関係が正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

	A 欄	B 欄
ア	スプロフェンによる発疹	ケトプロフェンが配合された外用鎮痛消炎薬
イ	鶏卵によるアレルギー症状	タンニン酸アルブミン
ウ	牛乳によるアレルギー症状	塩化リゾチーム
エ	かぜ薬によるぜんそく	イブプロフェン

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

問 1 4

医薬品を使用したとき、結果的又は偶発的に薬理作用によらない作用を生じることを何というか。正しいものを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 暗示効果
- 2 薬効
- 3 偽薬効果
- 4 自然緩解
- 5 条件付けによる生体反応

問 1 5

一般用医薬品の販売等に従事する登録販売者が購入者に説明する内容に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 医薬品を使用しても症状が改善しないとの相談に対し、継続して服用するよう薦^{すす}めた。
- イ 医療機関で交付された医薬品を使用している人から一般用医薬品との併用について相談を受けたが、併用の可否が判断できなかったため、医師又は薬剤師に相談するよう説明した。
- ウ 一般用医薬品を販売する際に、購入者に対し、食事や運動、喫煙などの生活習慣の改善について十分説明を行った。
- エ 過去に医療機関で治療を受けていた人に対し一般用医薬品を販売する際に、現在は通院していないと答えたため、既往歴の確認は行わなかった。

- 1 (ア、イ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (ウ、エ)

問 1 6

医薬品に表示される「使用期限」に関する以下の記述のうち、正しいものの組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア 使用期限とは、未開封状態で保管された場合に品質が保持される期限のことである。
- イ 使用期限とは、未開封状態で保管された場合に形状が保持される期限のことである。
- ウ 全ての医薬品は、使用期限を記載する法的義務がある。
- エ 購入後、開封されてからどの程度の期間、品質が保持されるかについては、医薬品それぞれの包装形態や個々の使用状況、保管状況等による。

- 1 (ア、ウ) 2 (ア、エ) 3 (イ、ウ) 4 (イ、エ)

問 1 7

以下の記述のうち、一般用医薬品の役割でないものを一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- 1 軽度な疾病に伴う症状の改善
- 2 生活習慣病の治療
- 3 健康状態の自己検査
- 4 生活の質の向上
- 5 衛生害虫の防除

問18

医薬品の販売等に従事する専門家が、医薬品の購入者から確認しておきたい基本的なポイントに関する以下の記述の正誤について、正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

- ア その医薬品を使用する人が、医療機関で治療を受けていないか。
- イ その医薬品の購入動機は何か。
- ウ その医薬品を使用する人が過去にアレルギーの経験があるか。
- エ その医薬品を使用する人として、小児が想定されるか。

	ア	イ	ウ	エ
1	正	正	正	正
2	正	正	誤	誤
3	正	誤	正	正
4	正	正	正	誤
5	誤	正	誤	正

問19

サリドマイド製剤に関する以下の記述について、()の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。

催眠鎮静剤等として販売されたサリドマイド製剤を妊娠している女性が使用したことにより、出生児に四肢欠損や耳の障害等の(ア)が発生した。これは、サリドマイドの二種類の光学異性体(R体、S体)のうち、一方の異性体((イ))のみが有する血管新生を妨げる作用によるものである。

また、この製剤の本来の目的である鎮静作用は(ウ)のみが有するとされている。

	ア	イ	ウ
1	先天異常	S体	S体
2	先天異常	S体	R体
3	先天異常	R体	S体
4	後天異常	S体	R体
5	後天異常	R体	S体

問 2 0

薬害に関する以下の記述について、() の中に入れるべき字句の正しい組み合わせを下から一つ選び、その番号を解答欄に記入しなさい。なお、同じ記号の() 内には同じ字句が入ります。

(ア) とは、整腸剤として販売されていたキノホルム製剤を使用したことにより、(イ) に罹患したことに対する損害賠償訴訟である。(イ) の症状として、初期には腹部の膨満感から激しい腹痛を伴う下痢を生じ、次第に下半身の痺れや脱力、歩行困難等が現れる。麻痺は上半身にも広がる場合があり、ときに(ウ) に至ることもある。

	ア	イ	ウ
1	スモン訴訟	亜急性脊髄視神経症 ^{せきずい}	視覚障害から失明
2	スモン訴訟	クロイツフェルト・ヤコブ病	プリオンが脳組織に感染して認知症
3	C J D 訴訟	亜急性脊髄視神経症 ^{せきずい}	視覚障害から失明
4	C J D 訴訟	クロイツフェルト・ヤコブ病	プリオンが脳組織に感染して認知症
5	H I V 訴訟	クロイツフェルト・ヤコブ病	視覚障害から失明